

**特集** 頸損ネットワーク**四国頸損の集い 2016**

愛媛頸髄損傷者連絡会 三ツ井 真平

11月6日に愛媛県の四国中央市で、毎年恒例の四国頸損の集いが行われました。中央市と言うことなので、四国(愛媛・香川・徳島・高知)と四県から集まりやすいということでここ近年はここで行われています。

初めにお弁当を食べながら、久しぶりな人もいたので交流を深めることが出来ました。そして、お弁当の時間に愛媛頸損 代表の井谷重人さんが、「JICA」からの仕事依頼でヨルダンに行った時のことを報告してくれました。

「JICA」と聞くと、なんだろう?と思う人も多いかと思います。言い方を変えれば、皆さんも一度は聞いたことがあるかと思います。

「青年海外協力隊」からの仕事で、ヨルダンに住んでいる「障がい者」が「障がい者」の精神的な部分での自立支援を出来るようピア・カウンセリングの手法を伝えに行った時のお話を聞かせてもらいました。最近ニュースで、テロなどの報告もあり怖いなと言う印象でしたが、お話を聞いて飛行機はビジネスで、現地は食事もおいしいし、何より現地の人のおぼろげという意識が高く、すぐに伝えたことを吸収するのでこちらが圧倒される勢いだったと話してくれました。普段あまり聞かない海外の支援活動の話に皆さんも興味津々でした。井谷さん貴重なお話有難うございました。

そして、今回はオブザーバーとして兵庫頸損の宮野さんが参加してくれました。来年行われる全国総会の場所が香川と言うことで、四国を盛り上げて行こうと貴重な意見とともに僕たちの学ぶ場になりました。今回の集いにテーマがなかったため、今自分たちの気になることや自分たちの県はこうだけどほかの県の人たちは?と言ったようなフリートークのような形で進んでいきました。やはり、話の中で多いのは交通機関のことや障害福祉サービスのことでした。今まで、四国内で僕達の県はこういう状況だということを報告し合っていましたが、宮野さんが来てくれたことによって問題点や違う視点から気づくことも話し合うことが出来、新たに活動していく方向性が見えた気がしました。わざわざ四国に来て下って有難うございました。また来年も四国中央市で、お会いできるのを楽しみにしています。

